

ふりがな 氏 名	いちむら ゆき 市村 由貴	職 名	准教授
取得学位	博士(文学)	学会での受賞歴	国立国語研究所 第11回所長賞(若手研究者奨励賞)(平成27年11月)
主な担当科目	日本語学概論(日本語音声学を含む)、国語、日本語史、日本語学講義 等		
所属学会	日本語学会、日本語文法学会、早稲田大学日本語学会、早稲田大学国文学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
コーパスを活用した授業の実施	平成29年 4月～	「国語」(名古屋女子大学)ではコーパス等インターネット上のデータを用いて多くの用例を収集・確認することにより、語の意味・用法に対する理解を深めるよう工夫した。
高大一貫連携事業・体験授業の実施	平成29年 10月27日	高大一貫連携事業の一環として、名古屋女子大学高等学校2年生を対象に、日本語学の体験授業「日本語のバリエーション」を行った。
保育者・教育者をめざす学生のための基礎学力向上計画の実施	平成31年 4月～	名古屋女子大学の教育特色化推進計画において、児童教育学科の学生を対象とした基礎学力向上のためのプログラムを実施した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.2 (ISBN 978-4-86487-720-6 C3037)	共	平成29年 7月	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者:荒川志津代・市村由貴ほか26名 全164頁中、「第2章 第1節 幼小接続・連携を目指した領域「言葉」と国語科の指導」(p.61-66)を執筆
	教職・保育職シリーズ4 教育・保育の学び プラス・ワン (ISBN 978-4-86487-784-8 C3037)	共	平成29年 12月	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者:荒川志津代・市村由貴ほか25名 全160頁中、「第2部 第1章 日本語の音便とその表記一言葉の適切な指導のために」(p.19-24)を執筆

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	教職・保育職シリーズ 5 教育・保育の新視点 (ISBN 978-4-86487-845-6 C3037)	共	平成30年 3月	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者:荒川志津代・ <u>市村由貴</u> ほか29名 全313頁中、「第2部 第1章 語彙を体系的にとらえる意義—よりよい教育・保育のために—」(p.61-70)を執筆
	教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3 (ISBN 978-4-86487-911-8 C3037)	共	平成30年 7月	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者:荒川志津代・ <u>市村由貴</u> ほか24名 全202頁中、「第2章 第1節 国語教育と方言—身近なことばから多様性を学ぶ—」(p.85-90)を執筆
	新しい古典・言語文化の授業—コーパスを活用した実践と研究— (ISBN 978-4-254-51061-4 C3081)	共	平成31年 1月	朝倉書店	河内昭浩編 著者:池上尚・河内昭浩・ <u>渡辺由貴</u> ほか12名 全208頁中、「3.3 コーパスデータから見た古文教材における連語」(p.145-152)を執筆
	保育者・教育者をめざす学生のための自習ガイドブック (ISBN 978-4-86693-058-9 C3037)	共	平成31年 4月	三恵社	名古屋女子大学文学部編 著者: <u>市村由貴</u> ・門松愛ほか11名 全230頁中、「第1部 本ガイドブックについて」(p.1-12)を執筆
	シリーズ教育・保育の論点 教授法と子ども理解 (ISBN 978-4-86693-101-2 C3037)	共	令和元年 7月	三恵社	名古屋女子大学文学部編 著者:荒川志津代・ <u>市村由貴</u> ほか17名 全144頁中、「第2部 第1章 多言語社会と異文化理解—国語科における Bamnga の導入—」(p.49-55)を執筆
	保育者・教育者をめざす学生のための自習ガイドブック 第2版 (ISBN 978-4-86693-245-3 C3037)	共	令和2年 5月	三恵社	名古屋女子大学文学部編 著者: <u>市村由貴</u> ・門松愛ほか11名 全168頁中、「第1部 本ガイドブックについて」(p.1-7)を執筆
	シリーズコーパスで学ぶ 日本語の歴史 (ISBN 978-4-254-51654-8)	共	令和2年 5月	朝倉書店	田中牧郎編 著者:田中牧郎・鴻野知暁・ <u>渡辺由貴</u> ほか6名 全180頁中、「第5章室町時代」(p.95-114)を執筆

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	シリーズ教育・保育の論点 理論と実践 (ISBN 978-4-86693-281-1 C3037)	共	令和2年 8月	三恵社	名古屋女子大学文学部編 著者:荒川志津代・市村由貴ほか 17名 全122頁中、「第2部 第1章 カタカナ表記の機能と表現効果について―表記の指導にむけて―」(p.48-53)を執筆
	日本語文法史研究 5 (ISBN 978-4-8234-1046-8)	共	令和2年 11月	ひつじ書房	青木博史・小柳智一・吉田永弘編 著者:吉井健・勝又隆・渡辺由貴ほか 12名 全303頁中、「短単位N-gram からみた『虎明本狂言集』と『天草版平家物語』の表現の特徴」(p.149-172)を執筆
	日本語文法史キーワード事典 (ISBN 978-4-89476-966-3)	共	令和2年 12月	ひつじ書房	青木博史・高山善行編 著者:青木博史・池上尚・渡辺由貴ほか 41名 全157頁中、「通時コーパス」(p.93-94)の項目を執筆
	『シリーズ教育・保育の論点 新時代の学び』 (ISBN 978-4-86693-490-7 C3037)	共	令和3年 7月	三恵社	名古屋女子大学文学部編 著者:市村由貴・小椋郁夫ほか 18名 全136頁中、「第2部 第1章 日本語のフィルターについて―「話すこと・聞くこと」の指導を視野に―」(p.64-69)を執筆
	『日本語の大疑問 眠れなくなるほど面白いことばの世界』 (ISBN 978-4-344-98637-4 C0295)	共	令和3年 11月	幻冬舎	国立国語研究所編 著者:相澤正夫・渡辺由貴ほか 37名 全262頁中、「「思う」と「考える」の意味はどういうふうに違うのですか」(p.151-157)を執筆
『早稲田大学日本語学会設立60周年記念論文集 第2冊 言葉のはたらき』 (ISBN 978-4-8234-1119-9 C3080)	共	令和3年 12月	ひつじ書房	早稲田大学日本語学会編 著者:森野崇・渡辺由貴ほか 23名 全419頁中、「文末思考動詞と推量の助動詞―「と思う」と「べし」の類似性を中心に」(p.49-64)を執筆	

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	語彙指導を視野に入れた類義語 の分析—国語教育におけるICTの 活用—	単	平成 29 年 10 月	児童教育論集 1 号	p.29-38
	小中学校国語科における知識と 技能—国語科新学習指導要領と 日本語学—	単	平成 30 年 2 月	教育・保育モノグラフ 2 学びの循環	p.71-80
	BCCWJ 教科書データにおける 複合辞の教科別使用状況—国 語教育を視野に—	単	平成 30 年 7 月	国立国語研究所論集 15 号	(論文発表名、 <u>渡辺由貴</u> ) p.195-210
	国語科教育を支える非言語コミュ ニケーション行動の効果とその 理解	単	平成 30 年 12 月	児童教育論集 2 号	p.18-23
	大学における効果的な授業法の 研究7(平成27～29年度)—学生 が主体的に学修する力を身につ けるための教育方法の開発—	共	令和元年 5 月	総合科学研究 13 号	遠山佳治・ <u>市村由貴</u> ・佐々木基 裕・渋谷寿・白井靖敏・杉原央 樹・竹内正裕・豊永洵子・羽澄直 子・服部幹雄・原田妙子・野内友 規・山田勝洋・三宅元子・吉川直 志 p.1-47
	国語科における文法指導の課題 —「体言・用言」「連体詞・副詞」 の用語を中心に—	単	令和元年 12 月	児童教育論集 3 号	p.1-7
	国定国語教科書にみる言語と教 育観の変化—共通教材を例に—	単	令和 3 年 1 月	児童教育論集 4 号	p.1-6
	洋学資料における文末思考動詞	単	令和 3 年 6 月	国文学研究 194 集	(論文発表名、 <u>渡辺由貴</u> ) p.1-33
「あいまいな文」を用いた文法指 導の検討	単	令和 3 年 12 月	児童教育論集 5 号	p.51-56	
学会発表	『日本語歴史コーパス 鎌倉時代 編Ⅱ 日記・紀行』の公開(ブース発 表)	共	平成 29 年 5 月 14 日	日本語学会 2017 年度春 季大会(関西大学)	鴻野知暁、 <u>渡辺由貴</u> 、片山久留 美、小木曾智信 日本語学会大会予稿集 p.161-166
	N-gram を利用した中世語の複合 辞・連語の検討(ワークショップ: 「日本語史研究とコーパス活用— その利点と注意点—」)	単	平成 30 年 5 月 20 日	日本語学会 2018 年度春 季大会(明治大学)	(発表名、 <u>渡辺由貴</u> ) 日本語学会大会予稿集 p.182-185

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
その他 (データ ベース)	『日本語歴史コーパス 室町時代編 IIキリシタン資料』(短単位データ 1.0, 長単位データ 1.0, 中納言バ ージョン 2.4.2)	共	平成 30 年 3 月	国立国語研究所	国立国語研究所コーパス開発セ ンター(片山久留美・ <u>渡辺由貴</u> ほか) <a href="http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/chj/muromachi.html">http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/chj/muromachi.html</a>
その他 (報告)	大学における効果的な授業法の研究7—学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発—	共	平成 30 年 5 月	総合科学研究(名古屋女子大学総合科学研究所) 12 号	<u>市村由貴</u> ・佐々木基裕・渋谷寿・ 白井靖敏・杉原央樹・竹内正裕・ 遠山佳治・豊永洵子・羽澄直子・ 服部幹雄・原田妙子・三宅元子・ 野内友規・山田勝洋・吉川直志 p.39
	大学における効果的な授業法の研究8—本学における効果的なアクティブラーニングの開発—	共	令和元年 5 月	総合科学研究(名古屋女子大学総合科学研究所) 13 号	<u>市村由貴</u> ・河合玲子・佐々木基 裕・渋谷寿・白井靖敏・杉原央 樹・竹内正裕・遠山佳治・羽澄直 子・服部幹雄・野内友規・山田勝 洋・三宅元子・吉川直志 p.91
	大学における効果的な授業法の研究8—本学における効果的なアクティブラーニングの開発—	共	令和 2 年 5 月	総合科学研究(名古屋女子大学総合科学研究所) 14 号	三宅元子・ <u>市村由貴</u> ・河合玲子・ 佐々木基裕・渋谷寿・白井靖敏・ 杉原央樹・竹内正裕・遠山佳治・ 羽澄直子・服部幹雄・野内友規・ 山田勝洋・吉川直志 p.137
その他 (記事)	「思う」と「考える」の意味はどうい ふうに違うのですか	単	平成 31 年 2 月	国立国語研究所 ことば 研究館 よくあることばの 質問	(発表名、 <u>渡辺由貴</u> ) <a href="https://kotobaken.jp/qa/yokuaru/qa-56/">https://kotobaken.jp/qa/yokuaru/qa-56/</a>